

充電時の注意事項：

1. 充電中は、湿気を避け、風通しの良い所で行い、熱源や爆発物からは遠ざける事
2. 充電する時は、バッテリーは本体から取り外す。充電は大人の監視のもとに行い、そうすることにより不足の事故を防ぐことになる
3. 飛行後、バッテリー表面が暖かい時は充電しない事。そうしないとバッテリーの膨張又は火災の危険性もある。
4. 充電には必ず付属のUSB充電器を使う事。バッテリーは長時間の使用、又は膨張の所見が見られた時は新しいバッテリーに交換する事
5. バッテリーは長時間使用しないと自然に放電する。バッテリーの寿命を短縮しないように、放電と充電を行う事。

バッテリーの維持・管理

1. バッテリーは湿気のない風通しの良く、18～25℃の環境下で保存する
2. バッテリーの寿命を長くするためには、連続充電・過度の放電を避ける事
3. バッテリーを長期間保管する時は、まず充電を行う事。容量全体の50～60%の充電状態が保管には最適。
4. 一か月以上飛行させない時は、バッテリーの電圧を毎月見て、3V以下にならないように注意する事。もしくはNo3の方法を行う。

降着脚とローター保護枠の装着

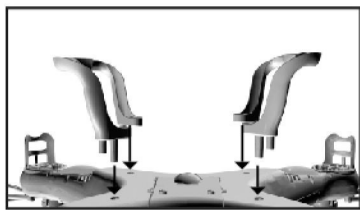


図.1

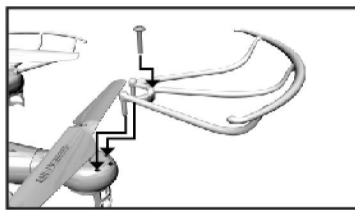


図.2

1. 着陸脚の取り付け（図1）
2. ローター保護フレームを取り付けネジでしっかりと固定する（図2）

送信機には、モード1・モード2と、異なる仕様方法を選んで設定が出来るようになっている。（左右のスティック動作変更）
Bスイッチを押しながら送信機の電源ボタンを押すことによりモード1とモード2を切り替える事が出来る

*モード1、モード2マニュアル参照

